

《五十鈴神社》

五十鈴神社は、天照大神（あまてらす おおみかみ）を祭神とし、通称「おんがみさん」として親しまれています。南土居地区には元々四つの村があり、それぞれに鎮守の神として四つの神社がありましたが、明治時代の太政官布告（だじょうかん ふこく）により神社の統合が行われました。その際、最も歴史の古い「おんがみさん」の敷地に集められました。

神社の名前は、伊勢神宮の内宮を流れる五十鈴（いすず）川から命名したそうです。拝殿の東には、天照大神の絵馬が描かれています。



【鳥居】



【社殿】



【天照大神の絵馬】